

平成 23 年度 シラバス	学年・期間・区分	1年次・前期・選択	
	対象学科・専攻	機械・電子システム, 電気情報システム, 土木工学専攻	
国際関係論 (International Relations)	担当教員	森田 豊子 (Morita, Toyoko)	
	教員室	非常勤講師室 (Tel42-2167)	
	E-Mail	saratoko@yahoo. co. jp	
教育形態 / 単位数	講義 / 2単位		
週あたりの学習時間と回数	〔授業 (100分) + 自学自習 (200分)〕 × 15回		
〔本科目の目標〕 国際関係論の基礎的な理論を身につけ、実生活において理論を生かし、応用することができるようにする。			
〔本科目の位置付け〕 本科で履修した「政治経済」、「世界史」などで得た基礎知識をもとに、より発展的な学習を行う。			
〔学習上の留意点〕 現実世界で起こっていることについて興味を持ち、自ら考えて行動する習慣を身につけること。			
〔授業の内容〕			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. 国際関係論の理論 (1) 世界を見る4つの見方 (2) リアリズム (3) リベラリズム (4) 安全保障 (5) 平和概念 (6) 国際経済 (7) 地球環境 (8) 人権	2 2 2 2 2 2 2 2	国際関係論における世界の見方の分類について理解できる。 リアリズム理論について理解できる。 リベラリズム理論について理解できる。 冷戦からポスト冷戦への歴史的展開と安全保障理論について理解できる。 平和概念の変化について理解できる。 国際経済の歴史的展開と現状について理解できる。 地球環境レジーム形成について理解できる。 人権の国際的保障の流れについて理解できる。	世界にある国家の名前をチェックしておく 前回の授業で指摘した理論家について調べておく 前回の授業で指摘した理論家について調べておく 第二次世界大戦の経緯について調べておく 「平和」の意味について考えておく WTOの成立過程の歴史について調べておく 地球温暖化問題についての現状についてHPをチェックする 何が「人権」であるのかについて考えておく
2. 現実世界と国際関係論 (1) 民族紛争と国民国家 (2) 宗教と国際政治 1 (3) 宗教と国際政治 2 (4) 9・11後の世界 (5) グローバル化する世界 (6) 日本の内なる国際化 --- 定期試験 --- 試験答案の返却・解説	2 2 2 2 2 2 2 2	国民国家システムと少数民族の問題について理解できる。 パレスチナ問題を中心とした宗教と国際政治との関係について理解できる。 台頭するイスラーム主義について理解できる。 9・11が世界に与えた影響について理解できる。 モノ・ヒト・カネの世界的な移動について理解できる。 日本の中の国際化の問題について理解できる。 授業項目 1、2 に対して達成度を確認する。	一つの国を選んでその国の少数民族を調べておく パレスチナ問題の歴史についてチェックしておく 2011年の中東の動きについて調べておく イラク戦争の原因について調べておく 前回の授業で指摘された国の人の動きを調べておく 鹿児島に住む外国人の数を調べておく
		試験において間違った部分を理解出来る。	

[教科書] なし

[参考書・補助教材] 授業中に適宜指示します

[成績評価の基準] 定期試験 (50%) + 演習・レポート (50%) - 授業態度 (上限 15%)

[専攻科課程の学習教育目標との関連] 1-1, 2-1

[JABEE の学習教育目標との関連] 1-1, 2-1

[JABEE との関連] (a)

メモ欄

Dotted lines for memo area